

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年7月28日

計画の名称	1 米子市社会資本総合整備計画（地域住宅計画Ⅱ期）（防災・安全）																																				
計画の期間	平成24年度～平成27年度（4年間）			交付対象	米子市																																
計画の目標	『生活充実都市よなご』をスローガンに、将来需要戸数の確保につとめ、世帯規模・高齢化・老朽化に対応した住宅供給を推進し、安全で快適でゆとりある住まい・まちづくりを実現する。																																				
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅のバリアフリー化 市営住宅の耐用年数経過戸数割合 長寿命化改善事業の実施率 高齢者の居住する住宅における一定のバリアフリー化率 																																				
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 市営住宅のうちバリアフリー住宅の割合 【バリアフリー住戸数】 / 【全体住戸数】</td> <td>28.7%</td> <td>36.4%</td> <td>37.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 公営住宅法上の耐用年数経過戸数の割合 【計画最終年（H27末）に耐用年数の経過している住戸数】 / 【全体住戸数】</td> <td>18.2%</td> <td></td> <td>9.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 長寿命化改善事業の実施率 【長寿命化改善事業として実施した住戸数】 / 【老朽化し改善工事の必要な住戸数】</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td>11.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 高齢者の居住する住宅における一定のバリアフリー化率 【2ヶ所以上の手すりまたは屋内段差解消を図った住戸数】 / 【65歳以上の高齢者の居住する住戸数】</td> <td>29.7%</td> <td></td> <td>52.4%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	① 市営住宅のうちバリアフリー住宅の割合 【バリアフリー住戸数】 / 【全体住戸数】	28.7%	36.4%	37.3%		② 公営住宅法上の耐用年数経過戸数の割合 【計画最終年（H27末）に耐用年数の経過している住戸数】 / 【全体住戸数】	18.2%		9.9%		② 長寿命化改善事業の実施率 【長寿命化改善事業として実施した住戸数】 / 【老朽化し改善工事の必要な住戸数】	0.0%		11.5%		③ 高齢者の居住する住宅における一定のバリアフリー化率 【2ヶ所以上の手すりまたは屋内段差解消を図った住戸数】 / 【65歳以上の高齢者の居住する住戸数】	29.7%		52.4%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																	
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																																		
① 市営住宅のうちバリアフリー住宅の割合 【バリアフリー住戸数】 / 【全体住戸数】	28.7%	36.4%	37.3%																																		
② 公営住宅法上の耐用年数経過戸数の割合 【計画最終年（H27末）に耐用年数の経過している住戸数】 / 【全体住戸数】	18.2%		9.9%																																		
② 長寿命化改善事業の実施率 【長寿命化改善事業として実施した住戸数】 / 【老朽化し改善工事の必要な住戸数】	0.0%		11.5%																																		
③ 高齢者の居住する住宅における一定のバリアフリー化率 【2ヶ所以上の手すりまたは屋内段差解消を図った住戸数】 / 【65歳以上の高齢者の居住する住戸数】	29.7%		52.4%																																		
全体事業費	合計 (A+B+C)	445百万円	A	438百万円	B	0百万円	C	7百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.6%																											

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
関係課にて実施	平成28年8月
	公表の方法
	米子市ホームページにおいて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	住宅	一般	米子市	直接	米子市	—	—	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅整備事業）	市営住宅建替事業（五千石）	米子市					219	
1-A1-3	住宅	一般	米子市	直接	米子市	—	—	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等ストック総合改善事業）	長寿命化改善事業（青木・河崎等）	米子市					216	
1-A1-4	住宅	一般	米子市	直接	米子市	—	—	地域住宅計画に基づく事業（住宅地区改良事業等）	長寿命化改善事業（万能町）	米子市					3	
											合計	438				
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27			
											合計					

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H24	H25	H26	H27		
1-C1-2	住宅	一般	米子市	直接	米子市	—	公営住宅等ストック総合改善事業に関連する事業	市営大工町住宅の改善事業、移転費等	米子市					7	
										合計			7		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
1-C1-2	中心市街地の活性化施策との連携(大工町再開発住宅の改善事業)、円滑な改善事業の実施(移転費)等														

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 市営五千石住宅建替事業により、バリアフリー住宅の割合が向上した。 市営五千石住宅建替事業により、耐用年数を経過している住戸数の割合が減少した。 市営住宅長寿命化改善事業により、長寿命化改善事業の実施率が向上した。（青木住宅、河崎住宅、上福原住宅、両三柳住宅、安倍彦名住宅、堀住宅） 市営五千石住宅建替事業により、高齢者の居住する住宅における一定のバリアフリー化率が向上した。 												
II 定量的指標の達成状況	指標①（市営住宅のうちバリアフリー住宅の割合）	最終目標値	37.30%	目標値と実績値に差が出た要因	バリアフリー住宅（五千石住宅）の建設戸数が当初計画より少なくなったため。									
		最終実績値	34.90%											
	指標②（公営住宅法上の耐用年数経過戸数の割合）	最終目標値	9.90%	目標値と実績値に差が出た要因	計画どおりの事業実施									
		最終実績値	9.90%											
	指標③（長寿命化改善事業の実施率）	最終目標値	11.50%	目標値と実績値に差が出た要因	当初の計画を見直し、長寿命化改善事業を前倒して実施したため。									
		最終実績値	30.20%											
	指標④（高齢者の居住する住宅における一定のバリアフリー化率）	最終目標値	52.40%	目標値と実績値に差が出た要因	バリアフリー住宅（五千石住宅）の建設戸数が当初計画より少なくなったことや、対象以外の住宅に居住する高齢者の増加したため。									
		最終実績値	31.60%											
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> 市営大工町住宅及び市営万能町住宅の耐震診断によって、中心市街地における既存ストックを活用する見通しができた。 												

3. 特記事項（今後の方針等）

・平成28年度からは、米子市社会資本総合整備計画（地域住宅計画Ⅲ期）（防災・安全）及び米子市営住宅長寿命化計画に従い、公営住宅の計画的な供給を図る。